

進路だより

令和8年6月16日

「第1回 進路希望調査」が配布されました

いよいよ1回目の「進路希望調査」が始まります。「進路希望調査」の提出は、中学校側が生徒・保護者の意向を知るだけでなく、生徒の皆さんにとってもいくつかのメリットがあります。

①進路について、情報を得たり、自分で考えたり、保護者の方や先生と相談したりする機会（チャンス）にする

- ・「進路希望調査」を書こうとすると、自分は今何が分からないのか、不安なのが見えてきます。
- ・その困りや悩みを解決するには、情報収集や相談が欠かせません。
- ※「ま、これでいっか」「とりあえずこうしておこう」と困りや悩みを先延ばしにせず、しっかり向き合しましょう。



②「締切がある重要な決定を、計画的に進める練習」にする

- ・「定められた期間の中で、悩み、決定する」という機会は、将来人生の中で何度か訪れます。
- ・「ずるずる悩み続けてしまう」「悩みに向き合いたくなくてとりあえず保留する」「日々の忙しさによって忘れてしまう」……その結果、手続きでバタバタしてミスを招いたり、焦って決定して後から後悔したり……ということもありえます。（小笠原先生自身も、過去にありました。）
- ・そうにならないよう、「この日までにはこの手続きを終わらせる」「そのためには悩んでいいのはこの日まで」「ということはその日までに情報収集や保護者と相談して……」など見通しを立てられるようになる必要があります。
- ・社会人になるまでに、それを練習する機会は意外とありません。計画的に悩む練習をしておきましょう。



③「正式な書類を締切までに完成させ、手続きを完了する練習」にする

- ・人生の節目節目で、重要な契約や手続きが必要になります。今は大人が助けてくれますが、いつかは自分だけで手続きをしなければならない日が訪れます。
- ・書類の書き方や修正の仕方、記入者や署名のタイミング、提出方法や締切など、指示を守らないと、手続きは完了しません。
- ・また、それらの指示が書かれたマニュアルを読んで理解する力や、困った場合にどこに助けを求めれば解決できるか考える力が必要となります。それらの力を得るための練習の機会も、成人するまで意外とありません。
- ・「進路希望調査」を適切に記入・提出ができるよう、「進路希望調査」「進路に関する提出書類について②」の説明をよく読み、必要に応じて先生や保護者の方に確認しましょう。

以上の①～③の視点で取り組んでみませんか？ そうすれば「進路希望調査」が単なる「色々やらなくちゃいけないことがある面倒くさい提出物」ではなく「ありがたい社会人の姿に自分を近づける練習の機会」に変わり、やりがいや提出した時の達成感も生まれるはずです。

学校説明会等の案内

高等学校等から、学校説明会の案内が届き始めました。夏休み前の土日や夏休み中に開催される場合が多いですが、6月中から申込が開始されるところもあります。申込は高校のホームページや QR コード等で、各自申し込む場合が多いです。

なお、過去は上級学校から「中学校宛てに生徒への周知依頼が届き、進路だよりを通して皆さんに伝える方式」が多かったですが、ここ数年は、「説明会紹介のリーフレット・実施要領など、配布資料が届き、随時皆さんに配布する方式」がメインになっています。**進路だよりだけでなく、日々の配布物を保護者の方としっかり共有するようにしましょう。**

また、**高等学校等が自校のホームページのみで知らせていることもあります。**一人一人の「進路」は異なりますので、自分の進路実現に向け、自分にとって大切な情報を自分でキャッチしていく意識をもちましょう。

※6月16日までに学校説明会・オープンキャンパス等のチラシ・ポスターの配付や掲示があった上級学校

札幌南、札幌月寒、三笠、静修、美唄聖華、とわの森三愛、札幌日大、札幌光星、札幌大谷、北星女子、立命館慶祥、北星学園大附属、札幌医学技術福祉歯科専門学校、苫小牧工業高専、函館工業高専、星槎国際、藤枝明誠 など

※憩いの場の進路用ホワイトボードに掲示していた資料・ポスターは、全て憩いの場のハーフポケットファイルに保存しています。



「進路のしおり」を配布しました

第2号で紹介した「進路のしおり」を配布しました。入試制度や札幌の上級学校に関する基本的な情報が掲載されています。なお、**P277以降に上級学校の一覧**が掲載されています。**「進路希望調査」に記入する校名・学科・(私立のコース名)はこのページに書かれたもの**を記入してください。